

基礎看護学実習Ⅱ

- 科目到達目標:
1. 対象者の健康にかかわる課題についての判断、対象者の基本的ニーズに応じた看護行為の実施、実施した援助の評価の過程を理解し、その過程に影響する要因について考えることができる。
 2. 療養生活を送っている対象者に対する基本的な生活援助の実践を通して、対象者が全体的存在として生活していること、健康および看護の意味について考える。

科目責任者(所属): 深田 美香 (基礎看護学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1~3	9/5(月)	1~4.5	112 ATU1~10	実習オリエンテーション	深田 美香 笠城 典子 栗納 由記子 奥田 玲子 山本 陽子 青戸 春香	基礎看護学	実習の目的、内容、方法を理解し、自己の課題を見出すことができる。	コミュニケーション、対人関係形成過程、基本的欲求、臨床判断、計画、看護援助の実施、協働、反応の観察、援助技術の評価、生活者、生活行動、生活過程、健康と病むこと、看護目標と看護計画
4~8	9/6(火)	1~4.5	ATU1~10	同意の得られた患者を1人受け持ち、受け持ち患者の看護を中心に実習する。			1)対象者との間に形成した人間関係について振り返り、考えることができる。	
9~13	9/7(水)	1~4.5	ATU1~10				2)対象者が必要とする看護援助について判断し計画することができる。	
14~18	9/8(木)	1~4.5	ATU1~10				3)看護判断に基づいた看護援助を対象者に提供することができる。	
19~23	9/9(金)	1~4.5	ATU1~10				4)実施した看護について評価することができる。	
24~28	9/12(月)	1~4.5	ATU1~10				5)対象者が全体的存在として生活していることを理解することができる。	
29~33	9/13(火)	1~4.5	ATU1~10				6)対象者が必要としている看護について考えることができる。	
34~38	9/14(水)	1~4.5	ATU1~10					
39~43	9/15(木)	1~4.5	ATU1~10					
44~45	9/16(金)	1~4.5	112 ATU1~10				学習内容のまとめ	

教育グランドデザインとの関連: 2,3,4,5,6,7

学位授与の方針との関連: 1,2,3,4

評価: 実習目標についての到達度について、実習記録を含めた実習内容70点、カンファレンス10点、レポート20点の配分で評価する。

その他: 7月に実習ガイダンスを行うので、必ず出席すること

看護学生の臨床実習用傷害保険に加入しなければ受講できない